

新町名称候補選定小委員会報告について

第3回新町名称候補選定小委員会および第4回新町名称候補選定小委員会において協議・確認をいただいた内容について、秦荘町・愛知川町合併協議会小委員会規程第7条の規定に基づき、次のとおり報告します。

平成16年4月22日提出

新町名称候補選定小委員会
委員長 廣 嶋 久 平

◎第3回新町名称候補選定小委員会

開催日時:平成16年4月9日(金) 午後1時30分から午後3時45分

開催場所:愛知川町役場3階 理事者控室

出席委員:廣嶋久平委員長、青峰淨子副委員長

宇野昌弘委員、上林 貞委員、宇野尚明委員

森 隆一委員、竹中秀夫委員、青木裕美委員

◎第4回新町名称候補選定小委員会

開催日時:平成16年4月12日(月) 午前9時から午前11時8分

開催場所:愛知川町役場3階 理事者控室

出席委員:廣嶋久平委員長、青峰淨子副委員長

宇野昌弘委員、上林 貞委員、宇野尚明委員

森 隆一委員、竹中秀夫委員、青木裕美委員

- 1 新町名称候補応募結果の概要について 別紙資料1

- 2 第1次選定の結果 別紙資料2
 - ・応募作品の中から「選定基準」に基づき、小委員会委員全員が1人5点を投票した結果、17点を選定。

- 3 新町名称候補 別紙資料3
 - ・第1次選定の名称候補17点の中から、第2次選定による絞り込みの結果、7点を新町名称候補とし、第5回秦荘町・愛知川町合併協議会に報告することを確認。

- 4 新町の名称住民アンケート実施について 別紙資料4
 - ・5月7日(金)から5月28日(金)まで22日間実施

- 5 新町の名称住民アンケート実施チラシについて 別紙資料5

- 6 新町名称候補選定今後のスケジュールについて 別紙資料6

- 7 新町名称候補一覧について(五十音順・応募数順) 別紙資料7・別紙資料8

- 8 新町名称候補理由一覧について 別紙資料9

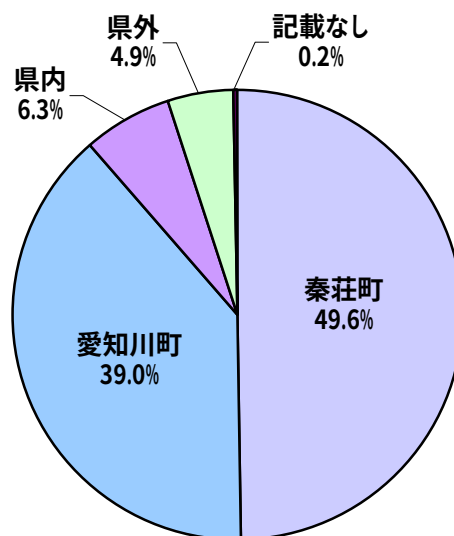
新町名称候補応募結果の概要

1. 募集期間 平成16年2月6日(金)～平成16年3月12日(金) 40日間

2. 募集結果

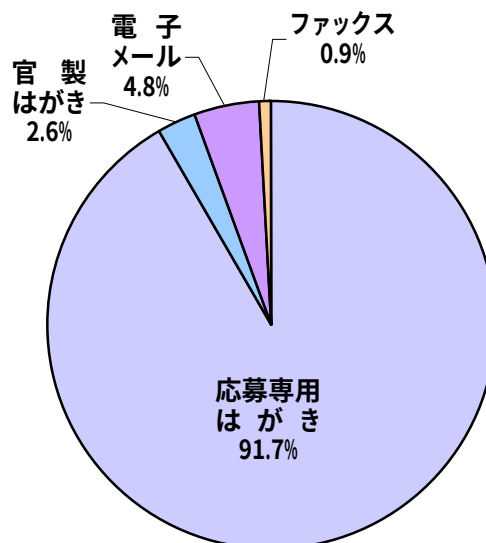
- ①応募総数 1,114件
 ②有効応募数 1,030件 (無効84件)
 ③名称候補数 313種類
 ④住所別状況

秦 荘 町	愛 知 川 町	県 内	県 外	記 載 な し	合 計
553	434	70	55	2	1,114



⑤応募方法別状況

応募専用はがき	官 製 は が き	電 子 メール	フ ァ ッ ク ス	合 計
1,022	29	53	10	1,114



第1次選定の結果(五十音順)

番号	名称候補	ふりがな
1	愛 莊 町	あいしょうちょう
2	愛 秦 町	あいしんちょう
3	愛 莊 町	あいそうちょう
4	愛 の 町	あいのまち
5	え ち 町	えちちょう
6	愛 知 町	えちちょう
7	愛 智 町	えちちょう
8	依 智 町	えちちょう
9	愛 知 川 町	えちがわちょう
10	恵 智 川 町	えちがわちょう
11	愛 智 莊 町	えちしょうちょう
12	愛 知 中 央 町	えちちゅうおうちょう
13	愛 知 秦 町	えちはたちょう
14	湖 央 町	こおうちょう
15	秦 愛 町	しんあいちょう
16	秦 莊 町	はたしょうちょう
17	秦 知 町	はたちちょう

新 町 名 称 候 補

(五十音順)

番号	名称候補	ふりがな	選定の理由
1	愛 莊 町	あいしょうちょう	応募数が多い。 合併によって2町が相性よく、仲良く発展することを願い、「愛」はいつくしむ心、「莊」は郷土をあらわし、愛情あふれるおごそかな町で、合併後の町民の幸せと新しい町の発展を願う名称。
2	愛 知 町	えちちょう	応募数が多い。 愛知郡がより発展していくように、また1郡1町をアピールし、いつまでも愛知を残したい思いは強く、みんなに親しみやすく、愛と知恵を生かした町にしたい。依智郡－愛智郡－愛知郡と変革し歴史深い「えち」の名称は地域住民に生きづいている名称。
3	愛 知 川 町	えちがわちょう	応募数が多い。 中山道の「愛知川宿」として、また愛知川の清流と共に栄え、全国的に知られ、親しまれている。愛は、郷土を愛しやすらぎと歴史を与え、知は英知を結集し反映を表し、川は住民の連帯感と活力を意味し町の発展を願う名称。
4	愛 知 秦 町	えちはたちょう	応募数が多い。 郷土の開拓と文化発展に寄与し、両町名の由来でもある依智秦氏（えちはた）の名称を取り入れることで、親しみがあり知名度も上がり、その歴史文化を偲びつつ、更なる発展を願う名称。
5	湖 央 町	こおうちょう	2町の地形は、日本のほぼ中心に位置し、また滋賀県の湖東平野のほぼ中央に位置し、日本を代表するマザーレイク琵琶湖を有しており、清新的なイメージができ、更なる発展が期待できる名称。
6	秦 愛 町	しんあいちょう	応募数が多い。 秦荘町の「秦」、愛知川町の「愛」の頭文字を取り入れ、親しみが持て愛する町をイメージでき、みんなが仲良く、親愛を深め信頼のもと、新しい町の発展に期待が持てる名称。
7	秦 莊 町	はたしょうちょう	愛着があり、伝統工芸の秦荘紬があり、依智秦氏に代表される古来からの「秦荘」の地名を残したい。郡の名称が「愛知」なので、町は「秦荘」にすることにより調和のとれる名称。

新町の名称住民アンケート実施

住民アンケート実施要項に基づき、次のとおり住民アンケートを実施する

1. 住民アンケートの実施方法

- ① 調査対象：平成16年4月1日現在において秦荘町または愛知川町に住所を有する15歳以上の者（住民基本台帳登録者、特別永住者および永住者）
- ② 調査人数：15,452人
- ③ 調査方法：候補となる名称のなかから、新町にふさわしい名称に○をつける択一方式
- ④ 調査期間：平成16年5月7日（金）から5月28日（金）まで（当日消印有効）
- ⑤ 周知方法：2町の防災行政無線で周知する
- ⑥ 配付方法：世帯ごとに住民アンケート実施チラシと、住民アンケート回答専用はがき（対象者分の枚数）を一つの封筒に入れて区長総代に配付を依頼する。なお、住民アンケート発送日は5月7日（金）とし、2町の区長総代による対象世帯へ配付または直送世帯へ郵送する
- ⑦ 住民アンケート回答専用はがきに新町の候補となる名称を記載する順番は、五十音順とする
- ⑧ 回答方法：住民アンケート回答専用はがきのみで回答を受け付けるものとし、回答専用はがきの切手代は料金受取人払いとする。なお、世帯員のなかで、身体の障害により回答することができない者については、代理の者が本人の意向を確認して記入することも認める
- ⑨ 回収方法：郵送による回収または秦荘町役場、愛知川町役場の各住民課窓口を設置してあるアンケート回収箱による回収（執務時間のみ）のいずれかによる

2. 住民アンケート回答の有効・無効・再交付

- (1) 複数の名称に○印を記載したもの、またはどの名称を選んだか不明のものは無効とする
- (2) 有効無効の判断は合併事務局が行い、判断が困難な場合は、新町名称候補選定小委員会の正副委員長に判断を委ねる
- (3) アンケートはがきの印刷ミス、書き間違いなどにより再交付の申し出があった場合は、交換すべき回答はがきを合併事務局へ持参した場合で、かつ本人確認ができた場合にのみ再交付するものとする

3. 新町名称の決定

合併協議会へ住民アンケートの集計結果を報告し、合併協議会において協議の上決定する

新町の名称住民アンケート実施について

秦荘町と愛知川町の2町が合併した場合あたらしく誕生するまちの名称を募集しましたところ、多くのご応募をいただきありがとうございました。ご応募いただいた名称の中から新町名称候補選定小委員会において名称の選定を行いました結果、7点を名称候補として絞り込みました。秦荘町・愛知川町合併協議会では、住民の幅広いご意見を十分配慮しながら協議し、決定していくことが望ましいと考え、次のとおり住民アンケートを実施しますのでみなさんのご協力をお願いします。

アンケート期間

5月7日（金）から5月28日（金）まで（当日消印有効）

アンケート対象者

平成16年4月1日現在、秦荘町または愛知川町に住所を有する15歳以上の方（住民基本台帳登録者、特別永住者および永住者）

アンケートの方法

同封のアンケート回答専用はがきに記載している候補となる名称の中から最も新町にふさわしいと思う名称の上1箇所に○をつけてください

返送の方法

次のいずれかの方法で返送してください

①アンケート回答専用はがきを、そのまま郵便ポストへ投函してください（切手は不要です）

②秦荘町役場または愛知川町役場の各住民課窓口に設置してあるアンケート回収箱に投函してください（執務時間のみとなります）

※世帯員のなかで、身体の障害により回答することができない方については、代理の方が本人の意向を確認して記入いただいてもかまいません

名称の決定

秦荘町・愛知川町合併協議会へ住民アンケートの集計結果を報告し、合併協議会において協議のうえ決定します

結果の公表

第7回合併協議会に報告し、合併協議会だより、ホームページで公表します

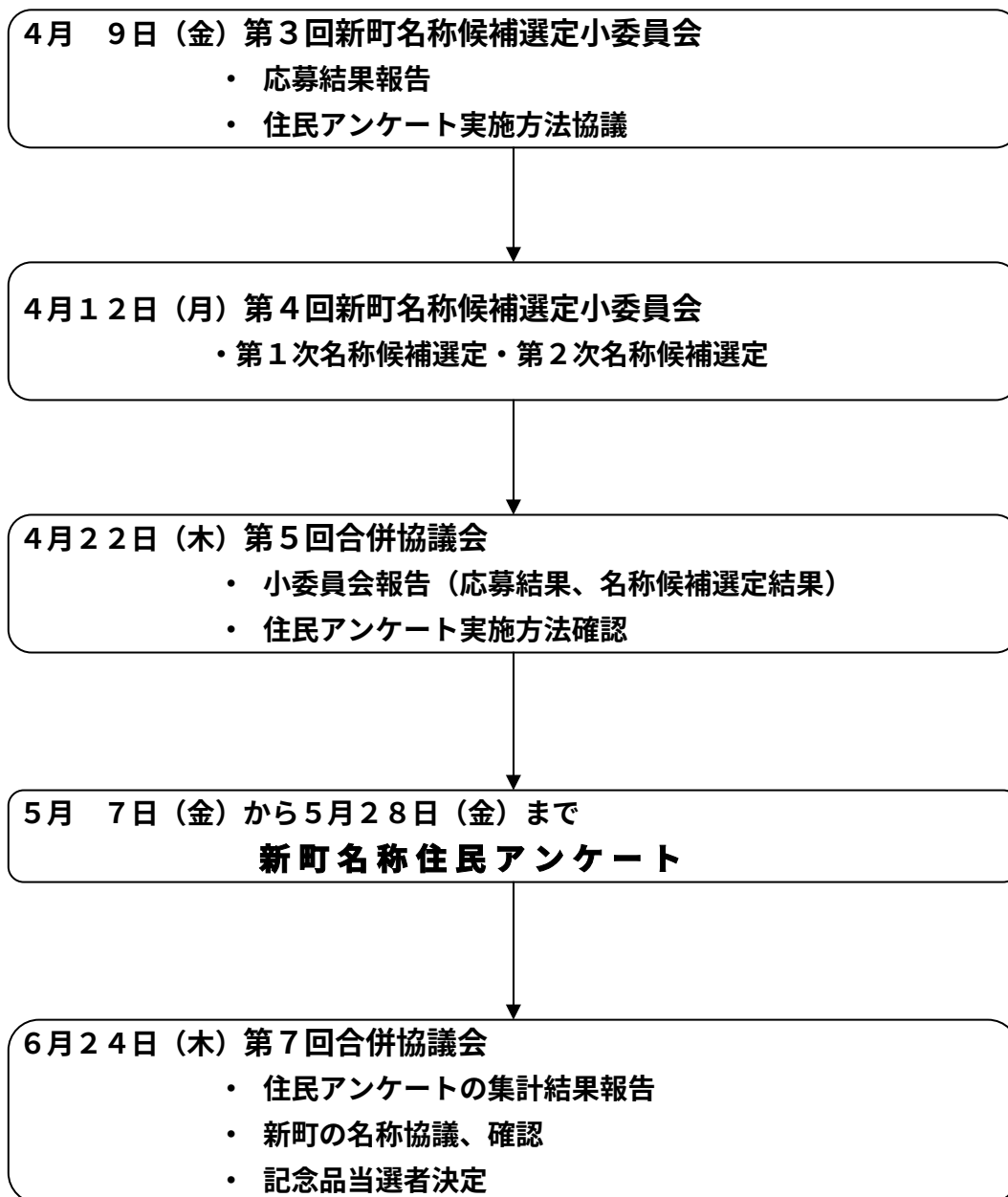
お問い合わせ先 秦荘町・愛知川町合併協議会事務局

〒529-1380 滋賀県愛知郡愛知川町大字愛知川7-2番地

T E L (0749) 42-7671 F A X (0749) 42-7677

Eメール gappei@hata-echi.jp ホームページ <http://www.hata-echi.jp/>

新町名称候補選定今後のスケジュール



新町名称候補一覧(五十音順)

別紙資料7

	名 称	ふ り が な	応募数		名 称	ふ り が な	応募数
あ	あい	あい	1	い	いなか(町)	いなか(まち)	1
	愛	あい	1	う	氏川	うじがわ	1
	愛愛	あいあい	1		うそ川	うそがわ	1
	愛合	あいあい	1		宇曾川	うそがわ	5
	愛宇	あいう	1	え	愛秦	えしん	1
	愛宇愛	あいうえ	1		エチ	えち	3
	愛栄	あいえい	1		えち	えち	31
	愛川寺	あいかわじ	1		愛知	えち	92
	愛川荘	あいかわしょう	1		愛智	えち	20
	愛輝	あいき	1		依智	えち	5
	愛郷	あいきょう	1		恵知	えち	3
	愛犬	あいけん	1		恵智	えち	3
	愛湖	あいこ	2		愛知宇曾川	えちうそがわ	1
	愛剛	あいごう	2		えちがわ	えちがわ	13
	愛金剛	あいこんごう	1		エチ川	えちがわ	2
	愛菜	あいさい	1		えち川	えちがわ	2
	愛秦	あいしょ	1		え智川	えちがわ	1
	あいしょう	あいしょう	2		愛知川	えちがわ	151
	愛称	あいしょう	1		恵知川	えちがわ	1
	愛秦	あいしょう	1		恵智川	えちがわ	16
	愛荘	あいしょう	64		えちがわはたしょう	えちがわはたしょう	1
	愛翔	あいしょう	2		えち里	えちざと	1
	あいしん	あいしん	2		愛知荘	えちしょう	9
	愛しん	あいしん	1		愛智荘	えちしょう	1
	愛心	あいしん	2		愛知荘	えちしょう	3
	愛秦	あいしん	25		愛知荘	えちそう	1
	愛秦荘	あいしんそう	1		愛秦	えちたい	1
	愛翠	あいすい	1		愛知中央	えちちゅうおう	4
	愛秦	あいそう	1		愛知中部	えちちゅうぶ	4
	愛荘	あいそう	16		愛知田園	えちでんえん	1
	愛園	あいその	1		愛知富	えちとみ	1
	愛宇	あいぞら	1		恵知富	えちとみ	1
	愛秦	あいたい	3		愛知野	えちの	1
	愛秦平成	あいたいへいせい	1		愛知の荘(町)	えちのしょう(まち)	1
	愛秦荘	あいたしょう	1		えちはた	えちはた	9
	愛知	あいち	2		愛知秦	えちはた	47
	愛之	あいの	1		愛智秦	えちはた	9
	愛の(町)	あいの(まち)	1		依智秦	えちはた	16
	愛の郷	あいのさと	1		恵智秦	えちはた	4
	愛の秦	あいのはた	1		依智秦	えちはた	1
	愛秦	あいは	1		愛知秦	えちはた	1
	あいはた	あいはた	2		愛知秦川	えちはたかわ	2
	愛秦	あいはた	38		愛知秦川	えちはたかわ	1
	愛秦荘	あいはたしょう	1		えちはたしょう	えちはたしょう	1
	愛美	あいみ	1		愛秦荘	えちはたしょう	1
	愛夢	あいむ	1		愛知秦荘	えちはたしょう	15
	愛より	あいより	1		愛智秦荘	えちはたしょう	1
	愛ラブ	あいらぶ	1		依智秦荘	えちはたしょう	1
	愛らぶ	あいらぶ	1		恵智秦荘	えちはたしょう	1
	愛愛	あいらぶ	1		愛知秦荘	えちはたしょう	1
	愛羅撫	あいらぶ	1		愛知秦荘	えちはたしょう	1
	愛里	あいり	1		愛知秦荘	えちはたしょう	1
	愛和	あいわ	2		愛知秦荘	えちはたしょう	1
	青空	あおぞら	4		愛秦	えはた	7
	あかね	あかね	1		愛秦	えはた	8
	アクア	あくあ	1		恵秦	えはた	1
	愛	あぐり	1		愛秦里	えはたさと	1
	アゲハ	あげは	1		愛八川	えやがわ	1
	あすなろ	あすなろ	1	お	桜花	おうか	1
	愛荘	あそう	1		淡海	おうみ	1
	愛曾川	あそかわ	1		近江愛秦	おうみあいはた	1
	彩香	あやか	1		おうみ愛秦	おうみえはた	1
	愛輪	あんりん	1		近江上布	おうみじょうふ	1

新町名称候補一覧(五十音順)

別紙資料7

	名 称	ふ り が な	応募数		名 称	ふ り が な	応募数
お	近江中央	おうみちゅうおう	1	し	秦知川	しんちがわ	1
	おうみ仲(町)	おうみなか(まち)	1		新秦知	しんはたち	1
	近江野	おうみの	1	す	すまいる	すまいる	1
	淡海東	おうみひがし	1	せ	清浄	せいじょう	1
	近江えち	おおみえち	1		星都	せいと	1
	近江湖東	おおみこう	1		西部	せいぶ	1
	近江上布	おおみじょうふ	1		清流	せいらゆう	2
	おほしさま	おほしさま	1		せせらぎ	せせらぎ	3
	織里	おりざと	1	そ	奏愛	そうあい	1
	愛秦	おりしん	1		想愛	そうあい	1
か	香澄	かすみ	1		荘愛	そうあい	5
	かなめ	かなめ	1	た	大愛荘	だいあいそう	1
	川荘	かわしょう	1		大志	たいし	1
	元張	がんばり	1		大秦恵	だいしんえ	1
き	畿央	きおう	1		秦知	たいち	1
	希望	きぼう	2		立待月	たちまちつき	1
	希和野	きわの	1		たつのおとしご	たつのおとしご	1
	銀河	ぎんが	1	ち	知愛	ちあい	1
け	恵荘	けいしょう	1		中央近江	ちゅうおうおうみ	1
こ	湖愛	こあい	1		中部	ちゅうぶ	2
	江央	こうおう	1	つ	つむぎ	つむぎ	1
	光輝	こうき	1	て	てまり	てまり	3
	江州路	こうしゅうじ	1		手まり	てまり	2
	江東	こうとう	1		寺宿	てらやど	1
	幸福	こうふく	1		田々	でんでん	1
	湖央	こおう	1	と	富永	とみなが	1
	こがね	こがね	1		知秦	ともはた	1
	こころ	こころ	1		豊国	とよくに	1
	子宝	こだから	1	な	仲	なか	1
	湖東三山	ことうさんざん	1		中近江	なかおうみ	1
	湖東みどり	ことうみどり	1		中近江	なかおーみ	1
	米俵	こめだわら	1		中江州	なかこうしゅう	1
	金祇	こんぎ	1		中仙道金剛	なかせんどうこんごう	1
	金剛	こんごう	3		中山道櫻	なかせんどうさくら	1
	金剛てまり	こんごうてまり	1		仲手	なかつ	1
	金剛	こんごお	1		仲良	なかよし	1
さ	彩樹	さいき	2	の	のぞみ	のぞみ	2
	さくら	さくら	1		和香	のどか	1
	さくら(町)	さくら(まち)	1	は	はぐくみ	はぐくみ	1
	里中	さとなか	1		秦	はた	2
	山瓶	さんびん	1		秦愛	はたあい	7
し	史愛	しあい	1		秦愛	はだあい	1
	滋賀	しが	1		秦愛川	はたあいかわ	1
	四季	しき	1		秦愛知	はたあいち	1
	宿場	しゅくば	1		はたえ	はたえ	1
	莊愛知川	しょうえちがわ	1		秦愛	はたえ	1
	翔和	しょうわ	1		秦恵	はたえ	1
	秦	しん	1		ハタエチ	はたえち	1
	しんあい	しんあい	3		はたえち	はたえち	2
	しん愛	しんあい	1		秦愛知	はたえち	2
	心愛	しんあい	1		秦依智	はたえち	8
	新愛	しんあい	4		秦愛知川	はたえちがわ	1
	秦愛	しんあい	26		秦川	はたかわ	9
	新愛荘	しんあいしょう	1		秦川	はたがわ	1
	秦愛荘	しんあいそう	1		秦川	はだかわ	1
	新えち	しんえち	5		はたしょう	はたしょう	1
	新愛知	しんえち	5		秦荘	はたしょう	9
	秦愛知	しんえち	2		秦荘愛知川	はたしょうえちがわ	1
	新愛知川	しんえちがわ	3		秦知	はたち	6
	新近江	しんおうみ	1		秦知川	はたちかわ	1
	新近江	しんおおみ	1		秦知川	はたちがわ	1
	新時代	しんじだい	1		花水木	はなみずき	1
	新星	しんせい	1	ひ	柊	ひいらぎ	1

新町名称候補一覧(五十音順)

別紙資料7

	名 称	ふ り が な	応募数		名 称	ふ り が な	応募数
ひ	東愛知	ひがしえち	1				
	東愛知川	ひがしえちがわ	1				
	東近江	ひがしおうみ	3				
	東琵琶	ひがしびわ	2				
	東びわこ	ひがしびわこ	5				
	美水	びすい	1				
	琵琶東	びとう	1				
	日和	ひより	1				
	びわこ	びわこ	1				
	びんてまり	びんてまり	2				
	びん手まり	びんてまり	1				
ふ	富貴	ふき	1				
	富史	ふし	1				
	ふれあい	ふれあい	1				
	ふれ愛	ふれあい	1				
へ	平成	へいせい	2				
ほ	豊剛	ほうごう	1				
	峰西	ほうせい	1				
	峰川	ほうせん	1				
	星	ほし	1				
	ほたる野	ほたるの	1				
	ほっと	ほっと	1				
	ほほえみ	ほほえみ	1				
ま	愛恵	まなえ	1				
	愛美	まなみ	1				
み	未来	みく	1				
	美咲	みさき	1				
	みずうみのひがし	みずうみのひがし	1				
	水木	みずき	1				
	美鈴	みすず	1				
	みちくさ	みちくさ	1				
	みどり	みどり	1				
	美鳥	みどり	1				
	水川	みなかわ	1				
	御幸	みゆき	1				
	美良	みよし	1				
	未来	みらい	1				
	未来(町)	みらい(まち)	1				
め	明愛	めいあい	1				
	明豊	めいほう	1				
	恵	めぐみ	2				
や	やすらぎ	やすらぎ	1				
	山芋の里	やまいものさと	1				
	山比古	やまびこ	1				
	山彦	やまびこ	2				
	やわらぎ	やわらぎ	1				
ゆ	優愛	ゆうあい	1				
	友愛	ゆうあい	3				
	湧光	ゆうこう	1				
	友情	ゆうじょう	1				
	湧水	ゆうすい	1				
	夢	ゆめ	1				
	ゆめあい	ゆめあい	1				
	夢川	ゆめかわ	1				
	夢地	ゆめじ	1				
	夢豊	ゆめとよ	1				
	夢中	ゆめなか	1				
	夢秦	ゆめはた	1				
	夢待	ゆめまち	1				
	夢海	ゆめみ	1				
ら	来訪	らいほう	1				

新町名称候補一覧(応募数順)

別紙資料8

名 称	ふ り が な	応募数	名 称	ふ り が な	応募数
愛知川	えちがわ	151	中部	ちゅうぶ	2
愛知	えち	92	手まり	てまり	2
愛荘	あいしょう	64	のぞみ	のぞみ	2
愛知秦	えちはた	47	秦	はた	2
愛秦	あいはた	38	はたえち	はたえち	2
えち	えち	31	秦愛知	はたえち	2
秦愛	しんあい	26	東琵琶	ひがしびわ	2
愛秦	あいしん	25	びんてまり	びんてまり	2
愛智	えち	20	平成	へいせい	2
愛荘	あいそう	16	恵	めぐみ	2
恵智川	えちがわ	16	山彦	やまびこ	2
依智秦	えちはた	16	あい	あい	1
愛知秦荘	えちはたしょう	15	愛	あい	1
えちがわ	えちがわ	13	愛愛	あいあい	1
愛知荘	えちしょう	9	愛合	あいあい	1
えちはた	えちはた	9	愛宇	あいう	1
愛智秦	えちはた	9	愛宇愛	あいうえ	1
秦川	はたかわ	9	愛栄	あいえい	1
秦荘	はたしょう	9	愛川寺	あいかわじ	1
愛秦	えばた	8	愛川荘	あいかわしょう	1
秦依智	はたえち	8	愛輝	あいき	1
愛秦	えはた	7	愛郷	あいきょう	1
秦愛	はたあい	7	愛犬	あいけん	1
秦知	はたち	6	愛金剛	あいこんごう	1
宇曾川	うそがわ	5	愛菜	あいさい	1
依智	えち	5	愛秦	あいしょ	1
新えち	しんえち	5	愛称	あいしょう	1
新愛知	しんえち	5	愛秦	あいしょう	1
荘愛	そうあい	5	愛しん	あいしん	1
東びわこ	ひがしびわこ	5	愛秦荘	あいしんそう	1
青空	あおぞら	4	愛翠	あいすい	1
愛知中央	えちちゅうおう	4	愛秦	あいそう	1
愛知中部	えちちゅうぶ	4	愛園	あいその	1
恵智秦	えちはた	4	愛宇	あいぞら	1
新愛	しんあい	4	愛秦平成	あいたいへいせい	1
愛秦	あいたい	3	愛秦荘	あいたしょう	1
エチ	えち	3	愛之	あいの	1
恵知	えち	3	愛の(町)	あいの(まち)	1
恵智	えち	3	愛の郷	あいのさと	1
愛知荘	えちしょう	3	愛の秦	あいのはた	1
金剛	こんごう	3	愛秦	あいは	1
しんあい	しんあい	3	愛秦荘	あいはたしょう	1
新愛知川	しんえちがわ	3	愛美	あいみ	1
せせらぎ	せせらぎ	3	愛夢	あいむ	1
てまり	てまり	3	愛より	あいより	1
東近江	ひがしおうみ	3	愛ラブ	あいらぶ	1
友愛	ゆうあい	3	愛らぶ	あいらぶ	1
愛湖	あいこ	2	愛愛	あいらぶ	1
愛剛	あいごう	2	愛羅撫	あいらぶ	1
あいしょう	あいしょう	2	愛里	あいり	1
愛翔	あいしょう	2	あかね	あかね	1
あいしん	あいしん	2	アクア	あくあ	1
愛心	あいしん	2	愛	あぐり	1
愛知	あいし	2	アゲハ	あげは	1
あいはた	あいはた	2	あすなる	あすなる	1
愛和	あいわ	2	愛荘	あそう	1
エチ川	えちがわ	2	愛曾川	あそかわ	1
えち川	えちがわ	2	彩香	あやか	1
愛知秦川	えちはたかわ	2	愛輪	あんりん	1
希望	きぼう	2	いなか(町)	いなか(まち)	1
彩樹	さいき	2	氏川	うじがわ	1
秦愛知	しんえち	2	うそ川	うそがわ	1
清流	せいりゅう	2	愛秦	えしん	1

新町名称候補一覧(応募数順)

別紙資料8

名 称	ふ り が な	応募数	名 称	ふ り が な	応募数
愛知宇曾川	えちうそがわ	1	米俵	こめだわら	1
え智川	えちがわ	1	金祇	こんぎ	1
恵知川	えちがわ	1	金剛てまり	こんごうてまり	1
えちがわはたしょう	えちがわはたしょう	1	金剛	こんごお	1
えち里	えちざと	1	さくら	さくら	1
愛智荘	えちしょう	1	さくら(町)	さくら(まち)	1
愛知荘	えちそう	1	里中	さとなか	1
愛秦	えちたい	1	山瓶	さんびん	1
愛知田園	えちでんえん	1	史愛	しあい	1
愛知富	えちとみ	1	滋賀	しが	1
恵知富	えちとみ	1	四季	しき	1
愛知野	えちの	1	宿場	しゅくば	1
愛知の荘(町)	えちのしょう(まち)	1	荘愛知川	しょうえちがわ	1
依智秦	えちいはた	1	翔和	しょうわ	1
愛知秦	えちはだ	1	秦	しん	1
愛知秦川	えちはたがわ	1	しん愛	しんあい	1
えちはたしょう	えちはたしょう	1	心愛	しんあい	1
愛秦荘	えちはたしょう	1	新愛荘	しんあいしょう	1
愛智秦荘	えちはたしょう	1	秦愛荘	しんあいそう	1
依智秦荘	えちはたしょう	1	新近江	しんおうみ	1
恵智秦荘	えちはたしょう	1	新近江	しんおおみ	1
愛知秦荘	えちはたしょう	1	新時代	しんじだい	1
愛知秦荘	えちはたしょう	1	新星	しんせい	1
愛知秦荘	えちはたそう	1	秦知川	しんちがわ	1
愛知秦荘	えちはたそう	1	新秦知	しんはたち	1
恵秦	えばた	1	すまいる	すまいる	1
愛秦里	えばたさと	1	清浄	せいじょう	1
愛八川	えやがわ	1	星都	せいと	1
桜花	おうか	1	西部	せいぶ	1
淡海	おうみ	1	秦愛	そうあい	1
近江愛秦	おうみあいはた	1	想愛	そうあい	1
おうみ愛秦	おうみえはた	1	大愛荘	だあいそう	1
近江上布	おうみじょうふ	1	大志	たいし	1
近江中央	おうみちゅうおう	1	大秦恵	だいしんえ	1
おうみ仲(町)	おうみなか(まち)	1	秦知	たいち	1
近江野	おうみの	1	立待月	たちまちつき	1
淡海東	おうみひがし	1	たつのおとしご	たつのおとしご	1
近江えち	おおみえち	1	知愛	ちあい	1
近江湖東	おおみこう	1	中央近江	ちゅうおうおうみ	1
近江上布	おおみじょうふ	1	つむぎ	つむぎ	1
おほしさま	おほしさま	1	寺宿	てらやど	1
織里	おりざと	1	田々	でんでん	1
愛秦	おりしん	1	富永	とみなが	1
香澄	かすみ	1	知秦	ともはた	1
かなめ	かなめ	1	豊国	とよくに	1
川荘	かわしょう	1	仲	なか	1
元張	がんばり	1	中近江	なかおうみ	1
畿央	きおう	1	中近江	なかおーみ	1
希和野	きわの	1	中江州	なかごうしゅう	1
銀河	ぎんが	1	中仙道金剛	なかせんどうこんごう	1
恵荘	けいしょう	1	中山道櫻	なかせんどうさくら	1
湖愛	こあい	1	仲手	なかつて	1
江央	こうおう	1	仲良	なかよし	1
光輝	こうき	1	和香	のどか	1
江州路	こうしゅうじ	1	はぐくみ	はぐくみ	1
江東	こうとう	1	秦愛	はだあい	1
幸福	こうふく	1	秦愛川	はたあいかわ	1
湖央	こおう	1	秦愛知	はたあいち	1
こがね	こがね	1	はたえ	はたえ	1
こころ	こころ	1	秦愛	はたえ	1
子宝	こだから	1	秦恵	はたえ	1
湖東三山	こうさんざん	1	ハタエチ	はたえち	1
湖東みどり	こうみどり	1	秦愛知川	はたえちがわ	1

新町名称候補一覧(応募数順)

別紙資料8

名 称	ふ り が な	応募数	名 称	ふ り が な	応募数
秦川	はたがわ	1			
秦川	はだかわ	1			
はたしょう	はたしょう	1			
秦莊愛知川	はたしょうえちがわ	1			
秦知川	はたちかわ	1			
秦知川	はたちがわ	1			
花水木	はなみずき	1			
柊	ひいらぎ	1			
東愛知	ひがしえち	1			
東愛知川	ひがしえちがわ	1			
美水	びすい	1			
琵琶東	びとう	1			
日和	ひより	1			
びわこ	びわこ	1			
びん手まり	びんてまり	1			
富貴	ふき	1			
富史	ふし	1			
ふれあい	ふれあい	1			
ふれ愛	ふれあい	1			
豊剛	ほうごう	1			
峰西	ほうせい	1			
峰川	ほうせん	1			
星	ほし	1			
ほたる野	ほたるの	1			
ほっと	ほっと	1			
ほほえみ	ほほえみ	1			
愛恵	まなえ	1			
愛美	まなみ	1			
未来	みく	1			
美咲	みさき	1			
みずうみのひがし	みずうみのひがし	1			
水木	みずき	1			
美鈴	みすず	1			
みちくさ	みちくさ	1			
みどり	みどり	1			
美鳥	みどり	1			
水川	みなかわ	1			
御幸	みゆき	1			
美良	みよし	1			
未来	みらい	1			
未来(町)	みらい(まち)	1			
明愛	めいあい	1			
明豊	めいほう	1			
やすらぎ	やすらぎ	1			
山芋の里	やまいものさと	1			
山比古	やまびこ	1			
やわらぎ	やわらぎ	1			
優愛	ゆうあい	1			
湧光	ゆうこう	1			
友情	ゆうじょう	1			
湧水	ゆうすい	1			
夢	ゆめ	1			
ゆめあい	ゆめあい	1			
夢川	ゆめかわ	1			
夢地	ゆめじ	1			
夢豊	ゆめとよ	1			
夢中	ゆめなか	1			
夢秦	ゆめはた	1			
夢待	ゆめまち	1			
夢海	ゆめみ	1			
来訪	らいほう	1			

新町名称候補理由一覧

(応募数順)

愛知川 （えちがわ）

- ・地理的にイメージしやすい
- ・名前が変わったら故郷がなくなった感じがする
- ・一つの町名を残し現在の財政難を解決するため町民の負担を軽減し両町のすこやかなる発展を目指すため
- ・愛知川町の方が人口が多いので
- ・江戸時代からの中山道愛知川宿愛知川を後世に残したい
- ・一番わかりやすい名称だから
- ・中山道「愛知川宿」で全国的に知られている明治から愛知川町として町制がしかれた（郡都でもあった）「愛を知る川」きれいな言葉である愛と知でまちづくりを推進
- ・今の町名に愛着があるため
- ・歴史的な名前だから
- ・つかいなれているので
- ・町名が変わると会社の住所変更登記又、事業所の所在地の変更届（運輸省）等その他住所変更による色々な手続きがわずらわしいのと、費用がかかるので
- ・この新町は変更後になると「秦荘町」がなくなり、しかも観光・文化・自然・歴史などや織物館とびんてまりの館でも有名なので、その名称は名付けて新生「愛知川町」と呼んでほしい
- ・宿場町として、河川名として歴史を表し、地理面でも所在地が想像できるから
- ・一級河川の愛知川があり全国に発信できる。愛知川＝清流 水と緑の町
- ・一郡一町となってしまうため愛知という名称を残したい。一級河川愛知川がありわかりやすい地名であるため
- ・昔からおいしいきれいな水が流れる大きな川のある町
- ・全国的に宿場町愛知川宿が知られていると思うから
- ・「川」そのものが地域の中で一番知名度もあるし、住民がなれしたしんだ名でもある。愛知 4 町の合併が動かないにしてもいつか「市」になる時にも愛知川市がいいと思うから
- ・”愛知川”と名の付いた多くのものを修正されるのに多くの費用がかかる。この節減分を旧秦荘の有益な事に活用されて理解を願ったら
- ・「愛知川」の名称は官公署、学校、工場に多く使用されているので町民や関係者（機関）に理解願える。標識その他の修正に要する費用が 60%程削減できる（現状のまま利用できる）
- ・道路標識をはじめ各施設の名称の書き換えの経費が半分以上に節約できるから
- ・江戸時代から中山道が有名であり、愛知川がびわこに流れているイメージがあり愛知川町の名がよいのでは
- ・一級河川の愛知川があり全国に発信できる愛知川＝清流・緑と水の町
- ・知名度の高さから位置を把握しやすい為
- ・駅があるし、川の名称と同じなのでわかりやすい
- ・琵琶湖にそそぐ 8 大河川の 1 つである愛知川。この地方をまとめる郡が愛知郡ならやっぱり愛知川町だと思う
- ・今までの愛知川という名前が好きだから

- ・旧中山道を有し、伝統のある名前だから
- ・愛知郡に残る唯一の町となる
- ・国道8号線が通り交通利便性もあり更に愛知川と言う河川もあり知名度が高いから
- ・愛と知、いかにもすばらしい人材を生み出しそうな未来的な名称
- ・響きも良し、地理的な名称
- ・名前が良い。愛する町、愛を知る町
- ・今の世の中子供たちにも愛のある人、愛する事を大切に作る人間に成長してほしいと思うと愛知川という名はとても良い
- ・昔より新町の東側を流れている愛知川は雄大にして変わることなくその流れは清い
- ・地域に恵を与えるシンボル
- ・愛知川の流れと共に栄えてきた町。町の売りとして中山道があげられるが、こちらも愛知川宿のなで親しまれている
- ・古くから中山道の宿場町や愛知郡（旧稲枝町も含め）の中心として栄えた歴史があり、警察署や高校など県の公共施設も含まれる町であることから現在使用されている愛知川町がふさわしい
- ・愛は郷土を愛しやすらぎと歴史を与え、知は英知を結集し反映を表し、川は住民の連帯感と活力を意味し全体として住みよい町づくりと町の発展を願って愛知川町としました
- ・やっぱりこの町は愛知川であってほしいと思う。「愛」と「知」そして「川」日本語のとてもステキな言葉の意味を感じられるこの名称は私にとってとても大切なもの
- ・愛知郡には大きな愛知川が流れ、それを中心に町は広がりどこの県にもないえちがわ町がよいと思う
- ・愛知川は永遠に消える事なく流れ愛知川の伏流水により生かされる事を感謝しながら生きる為に
- ・独特な読み方であり慣れ親しんでいるから
- ・豊かな自然のシンボル、広く知れ渡った名前

愛知 (えち)

- ・将来郡がなくなっても江戸時代からのふるさと愛知をせめてそのままここに残したい
- ・唯一愛知郡内にある町
- ・郡の名称だから
- ・愛と知をテーマに町づくりが進めやすいしきれいな言葉である"
- ・愛東町・湖東町が東近江市になり、秦荘町・愛知川町が合併すると愛知郡は1町のみになり、当町が愛知郡そのものとなるので郡名である「愛知」がもっともふさわしいと思うから
- ・未来に愛知町の名を残したい
- ・シンプル イズ ザ ベスト
- ・愛知郡の伝統文化を残したいから
- ・愛知郡の中央で親しみと愛着がある（両町共に）
- ・古い歴史、地域の地理的な存続を込めて
- ・愛を知る町
- ・愛知郡の愛知を取り、みんなに親しみやすく愛と知恵を生かした町にしたいという意味

- ・自然が残る健康的で老若男女活気のある町、よびやすくよみやすい町にと名付けました
- ・長年言ってきたしたしみある名称
- ・依智郡—愛智郡—愛知郡 愛知川町秦莊町は古代依智秦公の中心をなしていた。こうした由来から歴史的深きえちの名を残したい
- ・単純で将来便利 愛知郡で最古に残る町だから
- ・名称の発生の起源がわかり易い愛知郡の愛知が残り、愛知川町にも秦莊町にも共通してほとんど平等に関係がある
- ・複雑な名称でない、両町にとって公平でバランスがよい（川をつけてはいけない）
- ・愛知郡愛知町とごろがいいから
- ・愛知郡の中の愛知川が中心という意味
- ・合併しても愛知郡は愛知郡だから愛知町とする事によってより愛知郡がより発展していくように
- ・愛知川・秦莊町にはこれといった有名な名称等もなく世間一般に知られるものも無く将来両町のみの合併ではなく、ほかのいずれかの市と合併しなければならなくなった時、愛知郡も消える事が考えられ愛知の名をせめて将来に残す為
- ・愛知郡1つとしていつまでも愛知を残したい
- ・一郡一町をアピールしたい。愛知の灯りを消したくない
- ・やさしい響きを感じる町のイメージ
- ・愛知県は明治5年に名古屋県から改名され愛知郡はあっても愛知町はない。本県の愛知郡はもっと古くからあって郡の名をそのまま愛知町としたい。また2つの文字は愛を知る町でもある
- ・昔から当地方は渡来人と言われる所
- ・愛知郡の愛知であり愛知川が流れ、近江線にも愛知川町があるので
- ・両町が合併後発展しそうだから
- ・歴史ある町愛知川町を残してほしいがストレートに「愛知川」にすると秦莊に不公平である。故に愛知郡の「愛知」を取って名付けて欲しい

愛 莊 （あいしょう）

- ・山にかこまれ美しい町として日夜暮してきましたので合併になっても町から外へ出た人達が思い出すように
- ・愛知川と秦莊がひとつになるということで
- ・覚えやすく2つの町名が入った町名
- ・愛知川町の愛と秦莊町の莊でごろあわせで相性がいいように
- ・愛知川町の愛 秦莊町の莊 愛情あふれるおごそかな町
- ・これからも我が町の名残りをこれからの世代に思い残して欲しい。
- ・2つの町が、うまく合併して愛のある町
- ・愛という字を残してどちらもの字体を使いたかったから
- ・今日迄の町名をよき思い出として・合併後の又、将来の町・地域（莊）を愛するように
- ・地域に愛着がある名前だと思うから
- ・2町の「相性（あいしょう）」が良い事を願って

- ・愛があっておちつく町
- ・呼びやすさを追求した名前
- ・単純に両町の一字を残すだけでなく愛だけはどうしても入れたいしあいしょうという音も耳ざわりが良い
- ・愛のあふれるまちにしたい
- ・文字通り合併の結果がすぐわかる名。ひびきもよい
- ・呼びやすい順に並べ公平な気持ちを大切にしたい
- ・2つの町の良所が融合され、より良い町に発展していくことを願います
- ・愛・・・愛知川の愛　いつくしむ心。 荘・・・秦荘の荘　郷土・歴史ある町・町民の幸福と新しい町の発展を願い
- ・両町の名前から公平に選んだのと豊かな田園の町にふさわしい
- ・住民が町を愛そうとする気持ちも言葉に重ね合わせてあるのでさわやかな町名だと思います

愛知秦（えちはた）

- ・愛知川町も秦荘町も古代に遡ると当時進んだ文化を持った渡来人の依智秦公一族がこの地の山野を開拓して文化発展に寄与した古い歴史から両町合併には愛知秦町とすることが語呂もよく親しみがある
- ・愛知も秦も古来よりの名前であるその中心部である両町の名としてぴったりと思う。エチハタの4音でよびやすい
- ・愛知川と秦荘だけが1つになるという意味で
- ・愛知川の名称も古い歴史をもった地名であるし、秦荘も古代愛知秦氏が支配した古い歴史と由緒を有している地名でもある
- ・愛知郡には「依智秦氏」という秦氏の一族が愛知郡大国郷（現在の愛知郡愛知川町）と蚊野郷、八木郷に多く居住していたと伝えられていたことから
- ・愛知郡は古代”依智秦”又は”朴市秦”氏が開拓した土地であり”エチ”の字は愛と知を現し愛知郡の愛知でもある愛知で表現する
- ・愛知郡の歴史と秦荘町のハタに代表される織物の歴史を残す意味から名付けました
- ・愛知川町と秦荘町が共に発展出来るように上の文字を結びました
- ・両町のなじみの有る町名が残り親しみやすく平等であるから
- ・往古の地名或いは郷土を開いた先人の功績及び和名類聚鈔等にちなむと同時に、現愛知川・秦荘両町名の最大公約数であり、且つ由緒ある地名が全国的にも消えようとしている中、愛知秦町が適切と考えられる
- ・頭文字をとって合併を強調
- ・愛知川なまず遺跡（長野東）依智秦氏の存在が実証されている愛知郡内を開拓したとされる人物名
- ・両町名の由来になっている愛知秦氏の名を新町名とする。愛知秦氏は古代の日本において多大な功績を残している。その歴史は文化を偲び、新町が東アジア文化の国際交流拠点として発展することを祈念するに相応しい名称である

- 愛秦 (あいはた)
- ・両町の頭文字を取って
 - ・郷土を愛する町
 - ・2つの町が、うまく合併していき愛のある町にしていきたいため
 - ・いつまでも忘れないでいたいから
 - ・2町が共に親しみやすい
 - ・秦荘町の秦は古い歴史と由来を持つ。それを愛する意味と愛知川町の愛
 - ・愛知川町秦荘町が合併した事が一般町民にわかりやすい、互いの町民に違和感なく向上を目指したい
 - ・博愛・文化の秦

- えち (えち)
- ・愛知郡の2町の合併であり、愛知川も流れているから。愛知はえちと読みにくいのでひらがな
 - ・今ひらがなが流行っているから
 - ・Echigawa Toyokuni Hatakawa Yagisho ETHY (えち) 旧の4町名を採用
 - ・愛知郡からの残りを忘れぬように(愛知郡の名を残すよう)
 - ・依智秦氏のえち 愛知郡のえち 愛知川のえち ひらがなで暖かい平和な感じ
 - ・愛知郡から郡を取り知らない人が「あいち」と読まないようにひらがなにしました
 - ・えがおのたえない 知的なまち
 - ・愛知川流域を中心とした地域で簡単であるから
 - ・読みやすくかきやすく親しみやすく覚えやすく新町の名前としてキラッとひかるものがある
 - ・漢字の愛知だと字画も多く読みにくいのでひらがなのえちが両町民にも親しみやすく覚えやすく新町のイメージアップにもつながるふさわしい名前
 - ・市を考えた(もし市になったら)愛知郡1つとの考えから
 - ・今迄の両町名は字画も多いう読みづらく大変だったのでひらがなのえちが良い
 - ・読みやすい、親しみやすいようにひらがな名
 - ・愛知の読み方を全国に広める為ひらがなにした。将来市制が施行された場合、そのまま使える郡名を残す。広域地名として歴史的にも由緒ある「愛知」を使用しつつ音を大切にしたい
 - ・誰にでもわかりやすい「えち」町は、みんなに親しんでもらえるはず。歴史と文化があふれ全国にアピールできる町名

- 秦愛 (しんあい)
- ・みんな仲良く親愛・心愛で「秦愛町」
 - ・愛知川町と秦荘町の合併だから頭文字を取って・愛を先に書くと読みが読みにくくなるので秦を先に
 - ・秦荘にとって秦は歴史がありそうに残したいし、愛知川町の愛は愛知郡のあいでもあり両町が一緒になったという意味からも一字ずつとっての名前がよい
 - ・お互いの町の名前をとる意味と、親しみ持てる愛する町「親愛」をかねて

- ・秦荘の「秦」愛知川の「愛」 親愛・信愛・しんあい・秦愛
- ・親愛を深めていく町になってほしいと願うことから
- ・秦という国は戦国時代には戦国七雄の一となり始皇のとき天下を統一した。今までのように「はた」とよばずに「しんあい」信愛、心から愛するという呼び方にひっかけて「しんあい」とつきたい。
- ・秦荘の秦と愛知川の愛をとり秦愛町と名付けたい。名の示す共に愛し支え合いして親近感を深め信頼のもとで切磋琢磨し知名度アップをはかりながら新町づくりの発展化をめざす

愛秦 (あいしん)

- ・現名称の地域のイメージを残す
- ・歴史的な流れで愛秦と名づける
- ・他市町からわかりやすい所在
- ・愛知川の「愛」秦荘の「はた」をよびやすいように並べました
- ・歴史ある恵智（愛知）秦氏の中から愛秦の文字を選んだ。

愛智 (えち)

- ・昔の愛智郡からとり”愛と智恵の町”
- ・愛知郡 恵智川宿 依智秦氏 の（えち）を大切に愛智
- ・昔の地名を見ているとこの字で愛智郡と呼ばれていて親しみがあり、愛と智恵の有る町となつてほしい
- ・以前は愛智郡として知られていた。愛知は愛知県と間違われる事があるが愛智は愛と智恵の町つて良いのでは
- ・新町は旧愛知郡の中心に位置し昭和4年発行の愛知郡志によれば依智・秦智の字をもらう。文化革新国別制布かれて殆ど1300年愛知郡の名は継続しているとあり歴史あり新町の名にふさわしい。
- ・歴史ある”えち”の名称を引き継いでいきたい。地名は文化と歴史の豊かさを示すものである。
- ・地名は歴史と文化を後世に伝えていく大事なものである。「えち秦氏」から続いている「えち」の名称を消しては後の世代に申しひらきできない。長い歴史と豊かな文化の集約が地名であることを踏まえて地名をえらばなければならない。私たちは後の世に責任がある
- ・温故知新の諺にもある様に愛知の言葉を残して新しい町作りが何よりと思う
- ・愛知の名を惜しみます。秦荘の方の気持ちも考えて川を落とし知は昔の表記にした
- ・愛と智恵のある町
- ・藤原宮跡出土木簡に「依知郡」とある。古くは郡名表記としては依知郡・依智郡・愛智郡など多様であるが「愛智郡」が一般的だという。秦荘町・愛知川町を包む新町名として文化の香りする「愛智」を提案する
- ・町民が互いに愛しみ、えい智をもって町の発展につなげられるように
- ・宿場の歴史を。人とのふれあいと人生には愛と智恵が大切
- ・鈴鹿の峯に源を発する「母なる川愛知川」を私共両町民は幼き頃よりこよなく愛し親しみ現在両

町で上水道の水源と約 1580ha の水田に用水をかんがいされその恩恵を受けている。又、「近江愛智郡志」によれば孝徳天皇「大化の改新」により初代大領（郡長）に依智秦公門守により治められた由来と両町民に最も親しまれてきた「語呂」を考えて新町名としたい。「愛知」は「愛智」の略にて正字は「愛智」なり

愛 荘 （あいそう）

- ・ 愛知川の愛と秦荘の荘を生かして
- ・ 愛知川の愛と秦荘の荘を合わせたが、荘というのはやしきという意味も有り、愛というのはかわいがる・いつくしむという意味もあり愛のある町
- ・ 読みやすく親しみがある
- ・ 愛で始まる字体がいい
- ・ 愛想のよいまち
- ・ 豊かな住みよい町づくりをめざして親しみの住まい
- ・ 愛知川町と秦荘町の合併で ” 郷土を愛する ”

恵 智 川 （えちがわ）

- ・ 昔はこの文字が用いられていた、古くから使われているので。
- ・ 昔の歴史のある町にもどって
- ・ 時代が進むにつれ昔の心、風景のなくなっていく現在。初心に戻る意もあり歴史の残したい事も大切。自然の恵、人間の智（千枝を重んじる町として「恵智川」に戻っては
- ・ 中山道の宿場恵智川宿の再現をしていただきたい
- ・ 愛知川は恵智川とも越智川とも書かれたこともあるが、安藤広重の絵にも使われていることからこの名前がいい
- ・ 古来の恵智川の名称を使用する
- ・ 清らかなイメージの「川」を残し、江戸時代に使われていた「恵智川」の名前にしたら良いと思う。「愛知」は愛知県と思われる事もあるのでこれがよいと思う
- ・ 読みやすく、昔使われていた名称で歴史的に知られている字であるから
- ・ 宿場町の名前を消してはならない

依 智 秦 （えちはた）

- ・ 秦荘町・愛知川町の地域を開墾したのが渡来人系の依智秦氏であり、また「依智」は郡名や川の名前になっている「愛知」に、「秦」は秦荘町の前身「秦川村」の名や秦荘町のシンボル「秦川山」にも通じていることから、地域の歴史、文化に鑑み、地域特性を表す名称である
- ・ 歴史的にも文化的にも渡来人依智秦氏のはたした役割には大きなものがある。そのゆかりの地であると同時に愛知川町秦荘町の両町名をもかけた名前です
- ・ 後世になっても全国的にも恥じない立派なものと思う
- ・ 当地はその昔依智秦氏が先進技術を伝えたところ。その業績の恩恵を受け

愛知秦莊（えちはたしょう）

- ・古くからの町の名前を残すため
- ・愛知川町と秦莊町の町民が仲良く協力し合い生活出来る様に
- ・2つの町名が入り親しみやすい
- ・呼びなれた町名をいつまでも
- ・愛知川町と秦莊町がそれぞれ故郷の名を残し隔たりとなる川を除くことにより名実ともに将来に躍進する新しい町づくりを料町民が力を合わすことが出来る事を願って

えちがわ（えちがわ）

- ・地理的にイメージしやすい「愛知川」にちなみ、また新町ということでひらがな表記
- ・愛知川の名称をやわらかくする感じにする
- ・愛知川の知名度が高くアピールできる名称
- ・永年いつたえられた名称「えちがわ」に愛着があり、合併後も忘れないようにひらがなでの名称とした
- ・歴史的にも名の通っている大きな愛知川が流れているのに、近辺の市町で使うところがないので是非愛知川の名を残したい
- ・愛知川町でも秦莊町でもない名前。国際化の時代、出来るだけ読み易くシンプルな方がよい
- ・今までの愛知川町が好きなのでえちがわ町にした。新しく合併するのでひらがなにした
- ・愛知県に愛知郡がある。でもえちを残してほしいから。愛知川の流れる町だから
- ・ひらがなの方が親しみやすく覚えやすい
- ・「愛知郡」を「あいちぐん」と読み違える方が多い。あえて「えちがわ」にすれば「えちぐん」と読んでもらえる

愛知莊（えちしょう）

- ・両町の字を組合わせれば公正
- ・従来の地名を維持して残す
- ・旧町名には長らくなじんだ町民の思いや歴史が刻まれている
- ・愛知川と秦莊の莊園の地で愛知郡の中核である

えちはた（えちはた）

- ・はたしょう+えちがわ
- ・両町の歴史から
- ・宇曾川流域を開いた依智秦氏に因んであちはた町が最良の町名である
- ・新しい町として発展していく中でその土地に関わる歴史（豪族）を忘れず大切に思う気持ちから
- ・古代この湖東地域を開発した「依智秦氏」の偉業と両町の名前の一部合成したもの

愛智秦（えちはた）

- ・愛知川と秦莊の両方の字が入っていて、考古にもよい

- ・奈良。平安の古代より依智秦氏が納めた歴史に両町のアイデンティティがあること。誇りが必要
- ・秦氏に代表される古来からの地域名を残したい
- ・愛智という字はもともと旧の愛智郡から奈良朝以来ずっと使われてきた。(字は違うが依智秦氏とも通じる)

秦川 (はたかわ)

- ・秦荘町の一字と愛知川町の一字を使った
- ・秦荘の秦、また愛知川の川の一字ずつを採用した。また、美しい朝日の昇る秦川山の名称であるため

秦荘 (はたしょう)

- ・滋賀県伝統的工芸品である「秦荘紬」がある秦荘町をのこしたい。
- ・愛着があるから
- ・ずっと残しておきたい我が町の名。日本に「秦」の名のつく町を消したくない
- ・愛知郡なので愛知と言う名前は残るけれど秦荘がなくなるのは歴史的つながりがなくなるから
- ・愛知川・秦川・八木荘

愛秦 (えばた)

- ・「愛知川」の『愛』と、「秦荘」の『秦』を合体させた
- ・愛知川と秦荘の頭を取る
- ・もとの町名を思いおこすことができる愛知川の愛秦荘の秦
- ・2つの町の名前をとり、3文字の音でまとめました。「あいはた」ではなく「えばた」という響きがポイント

秦依智 (はたえち)

- ・この地域には秦氏と依智氏が勢力をもっていたというから

愛秦 (えはた)

- ・愛知郡の愛、愛知川町の愛、秦荘町の秦をとり歴史的な流れに沿い地域の特性を活かした
- ・愛知川町と秦荘町の合併ですので両町の文字をつなげ、かつ呼び易い名称をとりました
- ・愛知川町と秦荘町で生まれた町
- ・人間や生物への思いやりのある人の集まりの町

秦愛 (はたあい)

- ・両町の名前から
- ・秦荘と愛知川の頭の文字を合わせて共になじみの名称とした

- 秦知 (はたち)
- ・両町の字が入っていて、20才と同じで若いイメージ
 - ・愛知川町と秦荘町の二文字の組み合わせ
 - ・若い町新しい町の第一歩。
- 宇曾川 (うそがわ)
- ・両町を流れる川で1つにつながって発展を願う
 - ・両町の間を流れる宇曾川
 - ・織田信長が金剛輪寺を焼きにきた。そして金剛輪寺は焼けたといったが、本当は焼けてなくて織田信長はうそをついたということでうそ川の名前がつけられたから
- 依智 (えち)
- ・愛知郡のこの地は遠く奈良時代より依智氏が治め歴史的のある地。
 - ・歴史的に印象の残る名称かつ両町に合うひびきの良い町名ということで”依智秦氏”から。
 - ・依智秦氏の依智と中山道のえちがわ宿のふたつの町が合併するから
 - ・10年程前、教授から「愛知」は「依智とありますね」と教えられた。
 - ・依智秦氏と愛知川のえちをかけた
- 新えち (しんえち)
- ・未来に広がる新しい希望のもてる町づくり
 - ・2町が心1つにした新しい町づくりを願って
 - ・旧2町であたらしい町づくりを願う気持ちを表した
 - ・両町のわだかまりをすてて、新しい町を両町住民が創り上げる
 - ・愛知郡内唯一の町として、新しく住民が造り出す希望の町
- 新愛知 (しんえち)
- ・新しい愛知郡の町
 - ・新しい町ということで新を加えた。
 - ・歴史的な名前を残し「新」をつける。語呂もよい
 - ・秦のシンにも通じ愛知川町の愛知の歴史的な名前を残すとともに新しい歴史・まちづくりのスタートを願い新愛知町という名称は語呂もよい
- 荘愛 (そうあい)
- ・荘(おごそかに)つたえる 愛(あいを)もって の意味で秦荘町愛知川町共に愛をもってまちづくりを
 - ・愛知川町と秦荘町がいつまでも相思相愛の関係でお互いに仲良くできますようにという願いから
 - ・清き水の流れを愛し清き心にて田園を愛す
 - ・愛でかざる、愛がいっぱい

- ・ おごそかな（きびしい）中でも愛し合う町。秦荘・愛知川両町民の心情を踏まえて共に慣れ親しんできたイメージを残しつつ、きびしい中でも互いに愛し合っていける新しい町を望んで

東びわこ（ひがしびわこ）

- ・ 琵琶湖の東に位置しているから
- ・ 全国に通じる名称である
- ・ J A 東びわこもある

青空（あおぞら）

- ・ 老若男女が青空の元で、元気に安心して活々と、将来の飛躍を現実なものとの皆の協力で町の発展を誓う
- ・ 地域みんなが広々とした青い空のように、すこやかに健康に、優しい気持ちで暮らせるようにと願いを込めて
- ・ 広がりのある清潔なイメージ
- ・ 美しい町づくり

愛知中央（えちちゅうおう）

- ・ 愛知郡の一番大きな町、中部
- ・ 愛知郡の中心の町として隣町のモデル行政を期す
- ・ 愛知郡でただひとつ残った町となるので郡の中央に位置するからこの町名にした

愛知中部（えちちゅうぶ）

- ・ JA が現在の合併前、愛知川町と秦荘町とで愛知中部農協としてあり名称は両町民に親しみがある。

恵智秦（えちはた）

- ・ 愛知川町の字を恵智に変えた
- ・ 昔の字体を使用
- ・ 古い渡来民族恵智秦氏の拠点として由緒ある地域であり、文化があるから大切にしたい

新愛（しんあい）

- ・ 新しい町と愛知郡を入れて
- ・ 昔からなつかしい愛知の郷を残して新しい愛の町を念願にした
- ・ 新しくなる町がすごしやすく温かい町になって欲しいと言う願いを込めて
- ・ 新しく生まれ変わる愛知の町と愛にあふれる町

愛秦（あいたい）

- ・ 愛知川町の愛と秦荘町の秦で

- ・みんなに愛され安らぎを与える

エチ (えち)

- ・比較的簡単で名ごりもあり書きやすい
- ・同じ愛知郡内の町

恵知 (えち)

- ・昔、愛知川が恵知川と書かれていた時があった
- ・豊かな自然に恵まれた町。また町民が知恵を出し合ってつくる町
- ・「愛知」は愛知県のアイチと読まれるのでエチと呼びやすい名称がよい

恵智 (えち)

- ・中山道の宿場町として全国的に知名度があり、よび名は字が変わっても地理的に判断できる地理的、対外的、知名度的に総合してよいと思う
- ・愛知川・秦荘の歴史を表そうとするとこうなった。愛着があると思う

愛知荘 (ゑちしょう)

- ・愛知川町、秦川村、八木荘村は昔から米の産地で米の荘といわれ愛知郡の愛知、愛知川の愛知、秦荘の荘を残し新町の発展を示す
- ・愛知郡の愛知 愛知川町の愛知 秦荘町の荘を残す

金剛 (こんごう)

- ・秦荘町に金剛輪寺があるので知名度も高い
- ・国宝お寺さんをイメージとしてほこりとされる金剛輪寺、金剛苑をイメージに浮かんだ名前

しんあい (しんあい)

- ・秦荘の「秦 (しん)」と愛知川の「愛 (あい)」で。また、その音が「信愛」「親愛」に通ずるから
- ・かつては神愛高校で「しんあい」は使われており意味は違いますがなじみやすい
- ・秦荘の「秦」と愛知川の「愛」を組合わせて音読み。「しんあい」は「親愛」「信愛」にも通じる。ひらがな表記する事により優しくかつ親しみのあるまちのイメージを抱くことになる

新愛知川 (しんえちがわ)

- ・愛知川宿は昔から知られているので愛知川はそのままにして合併により新しく誕生した町名は文字通り新愛知川町とする
- ・新しく生まれ変わる町としてのイメージとして

せせらぎ (せせらぎ)

- ・愛知川や宇曽川の清い流れを表している。自然のいとなみは昔も今も人にやさしく永遠に続く

- ・いくつかの川や水路が流れる水の豊かなところなので

てまり (てまり)

- ・愛知川町でびん手まりを作っているかわいいから
- ・”びんてまり”は愛知川町の代名詞のようなものだから

東近江 (ひがしおうみ)

- ・馴染みのある言葉を用いてしかも全国の人が利いてもすぐに想定できる名称である
- ・両隣に彦根市、八日市市、近江八幡市と大きな市ができるので残されたわか町にも大きく希望もてる町
- ・近江の国と言われお米も近江米で知られているので

友愛 (ゆうあい)

- ・2町で友に町を愛する、仲良くやって行く
- ・町民1人ひとりが全ての人・物などに対して、愛情をもって共に支えあっていける。そんな良い町になるようにとの願いをこめて

愛湖 (あいこ)

- ・琵琶湖を愛するという意味。いつまでも美しい湖のある環境を愛する意味

愛剛 (あいごう)

- ・愛知川の66カードにのっている忘れられないきれいなびんてまり。本当にほっとなE町です。秦荘町にも忘れられない金剛輪寺が紅葉の名所です。三重の塔を仰ぎ歴史文化資料館と肩を並べ湖東三山で有名です。愛と剛をとって。
- ・愛は愛知川の愛、剛は金剛輪寺の剛。愛のある強い町。

あいしょう (あいしょう)

- ・ひらがなでやさしくあいしょうがよいように
- ・愛知川町の愛、秦荘町の荘・お互い気の合う又交流を深めるため

愛翔 (あいしょう)

- ・愛知川の愛とはたしょうのしょう(翔)で。愛の翔びかうまちの意を込めて
- ・愛知川町と秦荘町がはばたける様に

あいしん (あいしん)

- ・愛知川の愛と秦荘の秦をとって

- 愛心 (あいしん)
- ・愛は愛知郡の愛、愛知川の愛 心は”心ふれあうまちハーティータウン秦荘”の心です
 - ・愛知川町の愛、郡内を流れる愛知川の愛、ハーティータウン秦荘のハーティーから心をいただいで
- 愛知 (あいち)
- ・愛のある町。知人(ともだち)の町
 - ・初めて読む人、又は他府県の人「あいち」と読む人がほとんどである。愛知県があるようにこの際合併を機会に「あいち」と読んでどうか
- あいはた (あいはた)
- ・愛知川町の愛と秦荘町の秦を一字づつとった
 - ・ひらがなで書いた方が親しみがあってみんなに覚えやすい
- 愛和 (あいわ)
- ・両町が愛と和をもって一体となり共に繁栄していくことを願う
 - ・新しく2町が合併しお互いの地域住民同志が愛と和をもって協力し合い気持ちを和ませるホットな町作りをめざしたいという理由から
- エチ川 (えちがわ)
- ・中山道の宿場町としての伝統やびんてまりを守っていく為愛知川町の名を残すべき。また外国人が多い為外国人や他県の人からもよみやすい親しみやすい町名としてカタカナでエチ川
 - ・愛知と同じ県があるので読み方をわかりやすくエチ川とする。愛知郡にはエチ川が合っている
- えち川 (えちがわ)
- ・愛知川が流れている町
 - ・この名前が一番良い
- 愛知秦川 (えちはたかわ)
- ・両町名より
- 希望 (きぼう)
- ・二つの町が一体になって、いろんな事に希望がもてるように
 - ・希望に満ちた町になるよう
- 彩樹 (さいき)
- ・木々に彩られた町がいつまでもつづくように

- 秦愛知 (しんえち)
- ・ 秦荘の秦と愛知川の愛知を残して合併の名
 - ・ 両町の名前を残し新しいスタートという意味を込めて「秦」を「しん」
- 清流 (せいりゅう)
- ・ 愛知川と宇曾川の清流が印象的だから
 - ・ 愛知川にちなみ、清々しく流れる様な町
- 中部 (ちゅうぶ)
- ・ 愛知郡の中心だから
 - ・ 中間地なので
- 手まり (てまり)
- ・ 愛知川町の伝統文化産業の1つでもあるびんてまりを秦荘町の人によく理解してもらって全国に広め、より多くの人に知ってもらえたら
 - ・ 全国に有名になったびん手まりを考えて
- のぞみ (のぞみ)
- ・ 将来的に希望の持てる町になってほしい
 - ・ 愛知川町と秦荘町の未来に望みをたくしたいから
- 秦 (はた)
- ・ 湖東地方に依智秦氏が勢力を伸ばしこの地方が発展したため
 - ・ この地域で住み或いは育った人に脈々として伝えられてきた「秦」の名を残したい。1600年もの長い歴史があるから
- はたえち (はたえち)
- ・ お互いの町の名を残し、ひらがなにすることでイメージアップをねらう
 - ・ 秦荘のはたと愛知川のえちでよみやすく
- 秦愛知 (はたえち)
- ・ 秦のつく町村は少ない、愛知は愛知(あいち)と読まれる、あとに持って行くのが良い
 - ・ 秦→秦氏の秦・愛知→愛知川の愛知
- 東琵琶 (ひがしびわ)
- ・ びわ湖の東部を示すから
 - ・ 農協も東琵琶であるから良いと思う

びんてまり（びんてまり）

- ・ きれいなびんてまりをみんなにしてほしいから
- ・ びんてまりが愛知川町のシンボル

平成（へいせい）

- ・ 平成の大合併で誕生するため
- ・ 昭和から平成に年号が代って町名も平成の時代にふさわしい町名を考えました

恵（めぐみ）

- ・ 物の恵、自然の恵み、人と人との心のふれあう町
- ・ 自然の恵みいっぱいの町

山彦（やまびこ）

- ・ 愛知の名称をそのまま残しわかりやすく親しみを持てるようにひらがなにと思いました。
- ・ 誰もが話しかければきっと答えが返ってくるような暖かい町であるようにという願いから

あい（あい）

- ・ 愛知郡の愛をとって愛

愛（あい）

- ・ 誰からも愛される町。愛知郡の愛だから

愛愛（あいあい）

- ・ 愛知郡を愛する

愛合（あいあい）

- ・ 合併して私たちの町を愛する

愛宇（あいう）

- ・ 2町の大切な川愛知川と宇曽川から 2 文字を選び愛宇町とする。又、ひらがなの基本でもあり、あいう町と呼ぶ。話題性大である。（五十音でもトップにくる）

愛宇愛（あいうえ）

- ・ 愛と愛にかこまれて宇宙にはばたく町をめざす

愛栄（あいえい）

- ・ 愛もあり栄えて行く町であるようにと願いを込めて

- 愛川寺 (あいかわじ)
・愛する川(愛知川)と寺(金剛輪寺)のある町
- 愛川荘 (あいかわしょう)
・哀川翔をイメージした、日本を代表とする地域にしたいと考え愛知川と秦荘のおもかげをのこしたかった
- 愛輝 (あいき)
・愛のある町、輝きのある町。
- 愛郷 (あいきょう)
・皆が愛する故郷であり、皆に愛される町であるように
- 愛犬 (あいけん)
・旧愛知郡の名称から引用
- 愛金剛 (あいこんごう)
・愛知川町、金剛輪寺
- 愛菜 (あいさい)
・秦荘は愛知川より田畑も多く広く野菜も多く作られ出荷されておりお米も作られているので愛知川の愛と野菜の菜をとって2町の合併を現す
- 愛秦 (あいしよ)
・旧町の頭文字を残したい
- 愛称 (あいしょう)
・つり合いのよい町、愛の町、親しい関係の町、幸せな町にと秦荘の荘の字を称に変える
- 愛秦 (あいしょう)
・愛知川町の愛をとり秦荘町の秦をとりました
- 愛しん (あいしん)
・歴史上の町名(以前の)から秦荘の秦(はた・しん)は残すべき。「愛」は愛知郡と川。「しん」は新親心真ともイメージできる。「しん」は読みやすく書きやすい意味でひらがな
- 愛秦荘 (あいしんそう)
・両町の頭文字

- 愛翠 (あいすい)
・「愛」は愛知川の頭文字をとり、「翠」は緑したたるという意味をもち数々の伝統産業があり発音語いもよい
- 愛秦 (あいそう)
・町民の皆がお互いに思いやりをもち合い、それによって安全で明るく住みやすい町づくりができる。愛を奏でる町という願いをこめて
- 愛園 (あいその)
・自然豊かな田園を愛し守り町民和合の園で有る様に
- 愛宇 (あいぞら)
・愛知川の愛 宇曾川の宇
- 愛秦平成 (あいたいへいせい)
・いずれも今までの頭文字、そして平成になったから
- 愛秦荘 (あいたしょう)
・旧の全町を入れたいと思うので
- 愛之 (あいの)
・児童や福祉などが全ての人々に愛あふれる町になりますように
- 愛の(町) (あいの(まち))
・人を愛する、全てを愛する、愛なくして人生なし。合併を期にインパクトの強い名前
- 愛の郷 (あいのさと)
・いつまでも優しさにあふれたふるさとのような場所であって欲しいという願いをこめて。「の」という助詞を入れることで町の名前としては新鮮な感じを出したい
- 愛の秦 (あいのはた)
・愛の町愛知川と、歴史ある秦という地名の両方を使いたい
- 愛秦 (あいは)
・理由なし
- 愛秦荘 (あいはたしょう)
・理由なし

- 愛美 (あいみ)
・美しい自然を愛する愛知郡の愛を兼ねた
- 愛夢 (あいむ)
・愛と夢のあふれる町
- 愛より (あいより)
・愛知川と秦荘が派閥をおこさず愛より合って仲良く発展していけるように
- 愛ラブ (あいらぶ)
・地元の経済効果が出せる名称、若者が夢を持てる魅力的な名称、日本全国にアピールしイメージアップできる名称、両町の共通イメージはI LOVE わが町であるから
- 愛らぶ (あいらぶ)
・地元の経済効果が出せる名称、若者が夢を持てる魅力的な名称、日本全国にアピールしイメージアップできる名称、両町の共通イメージはI LOVE わが町であるから
- 愛愛 (あいらぶ)
・日本の地名の中に現在まで使用されてきた、愛という字を残したい。この町から世界に向けて大切な人間愛を発信したい
・一度聞いたら忘れられないインパクトのある町名でありたい
・21世紀型の誰からも愛される町名でありたい
- 愛羅撫 (あいらぶ)
・愛をテーマに！愛のある町になってほしいと言う願いを込めて
- 愛里 (あいり)
・いつまでも自然を愛する里であってほしい。町民皆がふる里を守り続ける町
- あかね (あかね)
・湖東三山にのぼる朝日をイメージして名前をつけた。また、あかねという音（おん）のひびきが明るく軽快でこれからの2町発展を期待
- アクア (あくあ)
・アクア＝イタリア語で水＝愛知川の澄んだ川の流れと連想できる
・漢字を使用せず誰にでも読める。ソフトな感じ

- 愛 (あぐり)
- ・漢字の”愛”はやはり一番素晴らしい言葉であると思うし、住民の理想、愛あふれる地域、何事も”愛”は共通している言葉であり、あえて”あぐり”と読ませる事でインパクトもあり知名度も上がる
- アゲハ (あげは)
- ・ア 安全 ゲ 元気 ハ はつらつの頭文字でアゲハ町
- あすなろ (あすなろ)
- ・明日こそはひのきになろうとするあすなろの木のように何事にもチャレンジしていく町にしたいから
- 愛莊 (あそう)
- ・愛知郡としての愛は残したいのと、愛知川秦莊の双方から平等に1字ずつ取るというのと愛の”いつくしむ・大切にする”という意味と、莊の”おごそか”という意味
- 愛曾川 (あそかわ)
- ・2つの町を流れる川。アユのいるきれいな川を願い、この町に若者がユーターンできる事を願いつつ
- 彩香 (あやか)
- ・愛知川町のびん手まり細工のあざやかさ、秦莊町の金剛輪寺のもみじのあざやかさ。またそれぞれの町の文化や歴史の香りがただようやさしい街であってほしいとの願いから
- 愛輪 (あんりん)
- ・愛知川の愛と秦莊の代表的なお寺金剛輪寺の輪から
- いなか (町) (いなか (まち))
- ・いなかだから
- 氏川 (うじがわ)
- ・秦氏の氏と愛知川の川
- うそ川 (うそがわ)
- ・両町に流れている共通点があるから
- 愛秦 (えしん)
- ・両町の頭文字をひとつずつとって音読みし新鮮な感じをもたせる。

愛知宇曾川 (えちうそがわ)

- ・農業者として愛知、宇曾川の源流に近く大昔から世話になっている河川

え智川 (えちがわ)

- ・中山道の宿場町でも知られている名前とひらがなの「え」で読みやすい

恵知川 (えちがわ)

- ・永年使いなれた名称をどうしてもものこしたく、「愛」をいつくしみの「恵」にした

愛知川秦 (えちかわはた)

- ・愛知川町は鈴鹿山系の清涼水として又中山道として古より町と栄えた所 秦荘町、湖東三山名所として有名

えちがわはたしょう (えちがわはたしょう)

- ・古くからのそれぞれの土地名を大切に受け継ぎたいと思う。地名は読みが難しく「あいちぐん」などまちがわれていたこと、固定観念にとらわれずに柔軟な町である事をアピールできると思う。

えち里 (えちざと)

- ・愛知郡の豊かな郷土、ふる里を大事にしたい

愛智荘 (えちしょう)

- ・愛知川町と秦荘町の良さを知りながら仲良く暮せるように

愛知荘 (えちそう)

- ・心豊かな人たちが住む町

愛秦 (えちたい)

- ・愛知川町、秦荘町合併を希望

愛知田園 (えちでんえん)

- ・壮大な田園の町という印象がある。また愛知の文字を入れたほうがよい

愛知富 (えちとみ)

- ・愛知郡が益々豊になる様に

恵知富 (えちとみ)

- ・中山道宿場町時代「恵知川」の「恵知」をとり、十問の知恵、勤勉から繁栄や富貴を期待する

愛知野 （えちの）

- ・「愛知郡」の名の由来となった「愛知野」を使いたい

愛知の荘（町） （えちのしょう（まち））

- ・愛知川は古代の東山道の宿駅名から引き続き中山道の宿駅名に引き継がれた歴史的価値のある名前であり、どんな形になろうと「愛知」という名は引き継ぐべき。ちょうど平安時代に「愛智荘」という名の荘園が存在していたことから、愛知川・秦荘両町の名を合わせるのならば、この名前がベスト。

依智秦 （えちはた）

- ・不對尊い歴史のある地方

愛知秦 （えちはだ）

- ・愛知川から秦川山までの地理的範囲と歴史的背景の存在を名称として残したい

愛知秦川 （えちはたがわ）

- ・手と手をつなぎ合わせた町

えちはたしょう （えちはたしょう）

- ・誰にでもよくわかり、所在地がよくわかる。

愛秦荘 （えちはたしょう）

- ・愛知川と秦荘が合併したので両名を利用した

愛智秦荘 （えちはたしょう）

- ・2町の名前を少し変化させ残しました

恵智秦荘 （えちはたしょう）

- ・由緒歴史ある地名を後世に残すためにも、愛着と誇りを持つためにも、既存の地名を活かしたい

依智秦荘 （えちはたしょう）

- ・理由なし

愛知秦荘 （えちはだしょう）

- ・両町の名前を取る

愛知秦荘 （えちはだしょう）

- ・従来 of 名称

愛知秦荘（えちはたそう）

- ・ 2町合併につき

愛知秦荘（えちはだそう）

- ・ 愛知川町、秦荘町の合併ですので 2 町の名前を入れました

恵秦（えばた）

- ・ 愛知川町は「え」は恵智川だったので元にもどり恵と秦荘の秦をとって両方とも地名から消えるのには忍びない歴史ある地名だから

愛秦里（えばたさと）

- ・ 愛知川と秦荘のいつまでも里であり、伝統的なものは残していき発達していくように

愛八川（えやがわ）

- ・ 愛知川町の愛、八木荘村の八、秦川村の川・一文字づつとって愛八川

桜花（おうか）

- ・ 字のごとく桜の花にちなみ、きれいに花開くような町にしたいねがい

淡海（おうみ）

- ・ 愛知川と秦荘のもつ雰囲気をもっと表しやすく且つ「滋賀らしさ」に近づける響きが好印象である。歴史ある両町にふさわしい字だと考えた

近江愛秦（おうみあいはた）

- ・ 秦荘町、愛知川町の一文字と旧近江国から「近江愛秦」としました。近江を付けることで地域がイメージでき、全国へのアピールも容易であり、地域住民の一体感も得られる

おうみ愛秦（おうみえはた）

- ・ 愛知川町は近江上布を育んだ地であり秦荘町は依智秦氏の地でもあり歴史を重んじ愛着のある町名が消滅するのは寂しくたえがたい。両町の頭文字を使い愛秦町でもよいのですが全国の人々がすぐにどこ（何県か）か分かる様におうみと先に入れる。現在（近江町）が存在して紛らわしく、”おうみ” とすることで子供でも読みやすく分かりやすいように

近江上布（おうみじょうふ）

- ・ 近江上布は近江商人が全国に売り歩き有名となったもの。現在の産地は愛知川町と秦荘町で、2 町の共通のものがよい

近江中央（おうみちゅうおう）

- ・近江の国の中央部を意味する

おうみ仲（町）（おうみなか（まち））

- ・ひらがな・・・ソフトで良い ・仲町・・・人と人との心のつながり

近江野（おうみの）

- ・滋賀県と言えば琵琶湖、近江牛、そして「近江米」がイメージされます。琵琶湖と愛知川に育まれた肥沃な田園地帯イメージとして『近江野町』と命名しました。音的にも非常に美しいと思います。愛知川町の町歌にも「・・・緑に息吹く近江野を渡る文化の風さやか自治の理想をこの町に・・・」とありますようにご当地に最適な町名だと思います

淡海東（おうみひがし）

- ・琵琶湖の東

近江えち（おおみえち）

- ・愛知はあいちと読まれやすいので、かなで（えち）とする

近江湖東（おおみこう）

- ・近江商人とすばらしい湖東三山のひとつがある地を合わせて近江湖東町

近江上布（おおみじょうふ）

- ・伝統の織物の名

おほしさま（おほしさま）

- ・かわいいから、大好きだから。

織里（おりざと）

- ・織物が両町とも有名で自然の多い町

愛秦（おりしん）

- ・理由なし

香澄（かすみ）

- ・すみきった青空にどこまでも幸せの香りを一面ただよわせて

かなめ（かなめ）

- ・色々な意味でのさきがけとなる町を目指して

- 川莊 (かわしょう)
・愛知川町の川と秦莊の町の名前
- 元張 (がんぱり)
・いつも頑固に意地を張っていませんか。頑固に意地を張ると疲れます。元気に胸を張ると笑顔が集まります。あなたの「頑張る」を「元張る」にかえてみませんか
- 畿央 (きおう)
・首都圏移転地に近く、全国にピーアール出来る
- 希和野 (きわの)
・両町が新しい希望と共になごやかなすみ良い町に、この湖東平野に一丸となって新しい風を感じる町にと願いを込めて又、愛知郡の郡を生かして
- 銀河 (ぎんが)
・夜空が美しい町であってほしいため
- 恵莊 (けいしょう)
・恵＝昔はエチガワは愛ではなく恵と書いたことと、秦莊の莊をとって
- 湖愛 (こあい)
・民の皆が滋賀県のシンボルマークである琵琶湖はもちろん自然を愛する事ができる様に心も身体も豊に健康であり続けられる願いを込めて。一人一人の心の豊かさが地域の安全や発展につながる
- 江央 (こうおう)
・県の中央に位置し ちいさくともキラッと輝く町を目指す
- 光輝 (こうき)
・ひかり、かがやき、ほまれある町になるよう
- 江州路 (ごうしゅうじ)
・原点に還って2町が昔ながらの滋賀の路をあるいてみたらいい
- 江東 (こうとう)
・近江、江州の江と、滋賀県の東 千年、万年も変わらない日本一のびわ湖の東

- 幸福 (こうふく)
・町民が幸福な生活ができる町づくり
- 湖央 (こおう)
・滋賀県のほぼ中央に位置し、日本そして滋賀県の代表的な湖である琵琶湖から
- こがね (こがね)
・近江米の稲作地帯である愛知郡なので黄金色に輝く稲をイメージした地名
- こころ (こころ)
・好きなものはハート。2つのまちの人の心がつながっていく事を望む
- 子宝 (こだから)
・愛知川町と秦荘町は少子化がないように、子どもがたくさんいる元気な町
- 湖東三山 (ことうさんざん)
・百済寺、金剛輪寺、西明寺は歴史、自然環境、文化など豊富で観光ルートとしても知名度が高い
- 湖東みどり (ことうみどり)
・ビワ湖の東地域、農村地域を表現
- 米俵 (こめだわら)
・おいしいお米をいっぱい食べてもらいたいから。お米がおいしいから
- 金祇 (こんぎ)
・秦荘町の金剛輪寺と愛知川町の祇園さんより
- 金剛てまり (こんごうてまり)
・秦荘町での文化財として有名な金剛輪寺と愛知川町のびん手まりの両方を合わせて
- 金剛 (こんごお)
・国の国宝金剛輪寺を全国の皆様に知ってもらい秦荘町の知名度を上げ若者が居住するように
- さくら (さくら)
・2町の歴史、伝統は忘れてはいけませんが新しい門出のためにあえて「愛知・秦荘」の文字とは全く関係ないけれど日本人のスタートは「さくら」の季節ということで愛知川町という名前を忘れ、愛知郡が二つに分かれる時にもふさわしい。そして春には桜の花が満開になる心癒される町に、おだやかで住み心地の良い町になればいい

さくら（町） （さくら（まち））

- ・春になると秦荘の町にたくさんの桜が咲き、人の心をなごませ豊かにしてくれる。春だけじゃなく春から夏へ、夏から秋・冬へと一年中通じてそんな気持ちでこの町で皆の心が通い合えればいい。

里中 （さとなか）

- ・山里でもないが、古き良き自然が残っているから

山瓶 （さんびん）

- ・秦荘町の特産物「山芋」の「山」と愛知川町の町期のマーク「瓶」をとって

史愛 （しあい）

- ・歴史の深い町であり町民が歴史を愛していきたい

滋賀 （しが）

- ・滋賀県に「滋賀」を使った市町村名がないため

四季 （しき）

- ・季節を大切に作る町にするため。季節がある町にしよう。

宿場 （しゅくば）

- ・中山道は昔大名の参勤交代や商売の行き来で賑わった街道で宿場として愛知川も有名な宿場町でした。今日お土産の「びんてまり」など保存されてます。草津につぎ有名

荘愛知川 （しょうえちがわ）

- ・愛する心豊かな人間が生活できるところ

翔和 （しょうわ）

- ・2つの町が「和」として未来へ「翔」いて欲しいとの願いを込めて

秦 （しん）

- ・歴史上、秦（中国）の国からの名残りで”秦荘”という名前がついていたように聞いています。秦のことはこれからも語り継がれていくのでそれを残すということ

心愛 （しんあい）

- ・ハーティータウン秦荘のハーティーから心 愛知川町の愛と川の愛知川の愛をいただいて心愛

しん愛 （しんあい）

- ・「しん」は秦の時代の秦。郷土の歴史上の名は残して欲しい。「愛」は愛知郡・河川の意。ほかに「しん」は親愛、新しい町、真心のこもった等々のイメージとして。「しん」は読みやすく書きやすい意味でひらがな

新愛莊 (しんあいしょう)
・新しく生まれ変わり互いの一文字を名づけ

秦愛莊 (しんあいそう)
・共に豊かな自然を愛する住みよい町

新近江 (しんおうみ)
・新しく生まれ変わった近江の町という意味

新近江 (しんおおみ)
・近江の名は全国に知られる名称であり、そこへ新しく出来る町

新時代 (しんじだい)
・新しい時代を意味する

新星 (しんせい)
・新しい星となって町づくりをしていこうという意味。一人一人新しく町づくりを

秦知川 (しんちがわ)
・秦莊の秦は歴史ある字なので残したいし、川のある町なので川もつけたかった

新秦知 (しんはたち)
・愛知川町と秦莊町の合併なので1字ずつ取る。また「はたち」は20才と々成人し独立の意をかねて

すまいる (すまいる)
・大人も子供も笑顔をたやさないまち

清浄 (せいじょう)
・浄化を図り清らかな町

星都 (せいと)
・星がキレイな町

- 西部 (せいぶ)
・堤康治郎先生は地元出身者で今は故人であらせられるが政治・財界に於いてわが国でも有名な先生ですのでその遺徳をたたえ将来まで西部の名前を地名に変えても越したい
- 奏愛 (そうあい)
・秦→奏 しょう (荘) →そう と愛知川の愛で愛を奏でる町
- 想愛 (そうあい)
・愛知・秦荘の住民がお互いに思い愛する心を持てる町
- 大愛荘 (だあいそう)
・2町合併だけでは面積その他の面でも小さいので頭に大を付けた
- 大志 (たいし)
・住民一人一人が大きな志を持って町をもりたてていけたらよい
- 大秦恵 (だいしんえ)
・小さな町の秦荘町と愛知川町が一緒になって大きな町になる
- 秦知 (たいち)
・秦荘町の秦と愛知川町の知をとり
- 立待月 (たちまちづき)
・秋夏春冬東の空の晴れた夕べに出る月は、愛知川・秦荘で見る月はまた格別。鈴鹿連峰の山が明るくなり、月出る時は壮大なものがある。愛知秦荘は最高の所である
- たつのおとしご (たつのおとしご)
・両町を合わせた形が「たつのおとしご」に見えるから
- 知愛 (ちあい)
・知を愛する町の意味・愛知郡の1つの町の位置づけ
- 中央近江 (ちゅうおうおうみ)
・近江の国の中央に位置しているから
- つむぎ (つむぎ)
・秦荘紬を偲んで繭のようにやわらかく心温まる芯のある町つむぎ町

- 寺宿 (てらやど)
・金剛輪寺により発展した秦荘町と、中仙道の宿場町として発展した愛知川町が合わさることにより両者の特徴を生かして更なる発展をとげるよう願って
- 田々 (でんでん)
・田んぼがたくさんあるから
- 富永 (とみなが)
・永久に富む事を祈って
- 知秦 (ともはた)
・愛知川の一文字と秦荘の一文字と取り合わせて
- 豊国 (とよくに)
・豊かな国であってほしい。昔豊国村というのがあった豊かなすごしやすい村だった
- 仲 (なか)
・仲のにんべんは人を表している。人と人が仲よくくらせる町にしたいから
- 中近江 (なかおうみ)
・東近江と西近江の間にあることと、地理的に滋賀県のまん中にあることから
- 中近江 (なかおーみ)
・東近江地区（八日市地区）及び北近江地区（彦根地区）の中央のため。宿場の中山道の意味
- 中江州 (なかごうしゅう)
・滋賀県（近江）の中位置に秦荘・愛知川があるので
- 中仙道金剛 (なかせんどうこんごう)
・各地域の文化名称をアピール出来る名の町の発展
- 中山道櫻 (なかせんどうさくら)
・街道を彩る桜が良い
- 仲手 (なかくて)
・両町が仲良く手をつないで町民の人々が幸せに暮らせる様に良い町を目指すように
- 仲良 (なかよし)

- ・人と自然と動物とみんなが仲良く暮らせる町になりますように

和香 (のどか)

- ・2つの町が合併する事で生まれる和。それぞれの文化や歴史を大切に自然の香りにつつまれて心豊かな生活ができる町。

はぐくみ (はぐくみ)

- ・2町が協力し合えるように

秦愛 (はだあい)

- ・秦荘と愛知川の一文字をとった

秦愛川 (はたあいかわ)

- ・鈴鹿山系に源を発する愛知川は豊かな水により伝統産業や文化が育った愛知川町である。愛知郡の古代豪族は依智秦氏ときく。その秦氏の歴史や遺跡を誇りとする秦荘町である。この名称を後世に残し呼び易い名称とする

秦愛知 (はたあいち)

- ・愛知川と秦荘の字を合わせて「愛知」の読み方を工夫した

はたえ (はたえ)

- ・えち川+はた町

秦愛 (はたえ)

- ・秦荘の「秦」と愛知川の「愛」をとり

秦恵 (はたえ)

- ・愛知川町も秦荘町も歴史ある町なのでどうしても地名から消したくないと思い愛知川の恵を取り

ハタエチ (はたえち)

- ・秦荘町と愛知川町が合併するから

秦愛知川 (はたえちがわ)

- ・秦荘にも川、愛知も川が流れシンボルになる

秦川 (はたがわ)

- ・古来、応神天皇の秦と云うことで、織物と川の関係でたんじゅんに町名一字一字をとりました

秦川 (はだかわ)

- ・鈴鹿山系の秦川山にちなんで秦荘の秦と愛知川の川をとる

はたしょう (はたしょう)

- ・「はたしょう」という響きを残したい

秦荘愛知川 (はたしょうえちがわ)

- ・2町の字を残す

秦知川 (はたちかわ)

- ・特になし

秦知川 (はたちがわ)

- ・「秦荘」の頭文字に「愛知川」の後2文字

花水木 (はなみずき)

- ・花と水と緑があふれる美しい町であるように

柊 (ひいらぎ)

- ・柊の木はクリスマスの季節や節分に用いられ魔を祓い邪気を除き幸せを守ると伝えられる。名は体を表すといわれる。経済の不況に伴い暮らしにくい現代にあってみれば二つの町がそれぞれの持ち味を生かして新しい町の繁栄をとの願いから。

東愛知 (ひがしえち)

- ・新しい時代感覚で思えば書き良いし愛知は残して秦荘町を愛知の東と思い

東愛知川 (ひがしえちがわ)

- ・秦荘町愛知川町も河川愛知川の東方面になるので

美水 (びすい)

- ・琵琶湖を常に美しく水を常に大切にをモットーに

琵琶東 (びとう)

- ・琵琶湖の東の町、琵琶は滋賀を表す。全国の人に場所がわかる

日和 (ひより)

- ・ポカポカと温かいイメージ やわらかく温暖な感じ

びわこ (びわこ)

- ・全国的ブランド名称

びん手まり (びんてまり)

- ・愛知川町にはびん手まりというものがあるから

富貴 (ふき)

- ・富を貴うように

富史 (ふし)

- ・秦氏とその臣下とも言える依智秦氏が残した多くの歴史が残っているから。歴史に富んだ町という意味でこの名称がいい。また富史は不死でありいつまでもこの町が栄える事を願う思いもある

ふれあい (ふれあい)

- ・人々がふれあうような町にしたい

ふれ愛 (ふれあい)

- ・仲良くしたい

豊剛 (ほうごう)

- ・豊満神社の豊、金剛輪寺の剛 一字ずつ使い豊かな強い町づくりを目指す

峰西 (ほうせい)

- ・鈴鹿を東に仰ぐこの地域の総称にふさわしいと考えます

峰川 (ほうせん)

- ・高い所と川とすべて平等

星 (ほし)

- ・何億光年もの昔の光がいま私達の頭の上で輝いている。2つの町がひとつになっていつまでも輝くように

ほたる野 (ほたるの)

- ・地域の特性（自然環境）ホタルが飛びかう環境の町と願って

ほっと (ほっと)

- ・両町のキャッチフレーズがこんな感じだから

ほほえみ (ほほえみ)

- ・みんなが笑顔あふれる町になるように

愛恵 (まなえ)

- ・愛知川の愛を残し、自然をイメージさせる恵で愛され、恵まれる町をめざすような名にしたかった

愛美 (まなみ)

- ・愛知川町に近くて、美しい町でありますように。愛があふれる町でありますように

未来 (みく)

- ・2つの町が合併して新しい町が生まれる。新しい町は豊かな未来につながっていると信じたい

美咲 (みさき)

- ・美しく咲く町がいい

みずうみのひがし (みずうみのひがし)

- ・地理的にわかりやすい名前

水木 (みずき)

- ・豊かな愛知川の水と緑いっぱいの秦川山の木々でわかり易い

美鈴 (みすず)

- ・美しく鈴鹿の山鹿見える町

みちくさ (みちくさ)

- ・心のゆとりと遊び心を大切に

みどり (みどり)

- ・緑あふれる平和な町を祈念して

美鳥 (みどり)

- ・子供たちが美しく鳥のように巣立ってゆくイメージと緑の多いきれいな町であってほしいという願い

水川 (みなかわ)

- ・愛知川と宇曽川の豊富な水が流れる町

御幸 (みゆき)

- ・滋賀県の北部、南部との境目に対する中部の位置に愛知川河川があり、御幸橋も国道8号線上にありその地区愛知川・秦荘の合併にふさわしい名称

美良 (みよし)

- ・地域の地理的なイメージで美しく良い町ということ。地域住民で美しく住み良い町。知名度が上がる名称で美しい町。歴史・文化など地域特性を表す名称で良い所は受けついでいるということ。対外的にアピールできる美しい良い町

未来 (みらい)

- ・発展していく町にあるように。将来のことを考えて町民みんなが省ゴミ、リサイクルに心がけていく。将来のためにも次世代を担う子どもを危険から守っていく地域となるように

未来(町) (みらい(まち))

- ・合併を機に将来(未来に向かって)に夢をたくして、はばたく町になるように。また、誰もが読み易くわかりやすく親しみやすい名称

明愛 (めいあい)

- ・明るく愛し合う町

明豊 (めいほう)

- ・明るく豊かな町

やすらぎ (やすらぎ)

- ・安らいだ(おだやかな)町

山芋の里 (やまいものさと)

- ・特産物が全国的に有名だから

山比古 (やまびこ)

- ・山比古湧水からとり、ひびきがよい

やわらぎ (やわらぎ)

- ・和らいだ(おだやかな)町になることを願って

優愛 (ゆうあい)

- ・みんなが優しくおもいやりのもてる愛のある町になる事を願って

湧光 (ゆうこう)

- ・やまびこ湧水のように光が湧くように

- 友情 (ゆうじょう)
・「友情」に満ちあふれた町にしたいから
- 湧水 (ゆうすい)
・山比子湧水のように澄みきった人々で澄みきった町でいたいから
- 夢 (ゆめ)
・夢のある町づくり
- ゆめあい (ゆめあい)
・2つの町の合併で他の合併する市や町よりは小さいけれどこれからの未来にたくさん夢のつまった私達の愛する町、みんなから愛される町を願って
- 夢川 (ゆめかわ)
・夢のある町
- 夢地 (ゆめじ)
・夢のある町づくりの「夢」と、大地の恵みを大切にする農業の地である「地」
- 夢豊 (ゆめとよ)
・夢のある豊かな町になるように
- 夢中 (ゆめなか)
・郡が愛を知るなので2つの町が夢の中にいるような豊かで平和であるように
- 夢秦 (ゆめはた)
・夢のある秦川
- 夢待 (ゆめまち)
・変わった名前がよいから
- 夢海 (ゆめみ)
・夢ある町づくりの「夢」と湖国のシンボル琵琶湖・淡海の「海」で夢海町
- 来訪 (らいほう)
・人がたくさん訪れたらいい